

観  
世  
流

# 緑泉会

Kanzeryu Nob-Theatre Ryokusenkaï

平成27年 第1回例会  
**3.7** [土] PM 1:00~ (開場 12:00)  
喜多六平太記念能楽堂



『鞍馬天狗』津村禮次郎  
(撮影：前シテ/吉越スタジオ 後シテ/森田拾史郎)

能……藤戸……………坂 真太郎  
狂言……土筆……………大藏吉次郎  
能……鞍馬天狗……………津村禮次郎



『藤戸』坂真次郎 (撮影：吉越スタジオ)

舞囃子 葛城 杉澤 陽子

大鼓 原岡 一之 太鼓 林 雄一郎  
小鼓 田邊 恭資 笛 藤田 貴寛

舞囃子——葛城(かざらき)  
葛城山から吉野金峰山までの長い岩橋を架けるといふ命を果たせず、不動明王の戒めを受ける身となった葛城の女神。舞囃子は、山伏の祈りに導かれて現れた葛城の女神が、格調高く舞を舞う部分である。月下の銀世界の中、醜い容貌を恥じた女神は、夜が明ける前にと、岩戸の中に姿を消すのであった。

能——藤戸(ふじと)

能 漁師ノ母 坂 真太郎

大鼓 佃 良勝 笛 藤田 貴寛  
小鼓 田邊 恭資

大鼓 常好  
從者 館田 善博  
從者 森 常太郎  
盛綱ノ下人 善竹 十郎

後見 河井 美紀  
鈴木 啓吾

地謡 菅野 貞男  
桑田 貴志  
小島 英明

新井麻衣子 佐久間二郎  
菅野 貞男 奥川 恒治  
桑田 貴志 中所 宜夫  
小島 英明 永島 充

〔休憩二十分〕

狂言 土筆

男 大藏吉次郎

男 宮本 昇

仕舞 忠度 隅田川

中森 貫太  
墨 敬子

地謡 河井 美紀  
永島 充  
中所 宜夫  
佐久間二郎

〔休憩十五分〕

牛若丸 桑田潤之介  
花見子 桑田大志郎  
花見子 花澤 遼輔  
花見子 新井 弘悠  
花見子 青山 昂生  
花見子 佐久間瑞稀

山伏 津村禮次郎

能 鞍馬天狗

僧 安田 登

大鼓 原岡 一之 太鼓 林 雄一郎  
小鼓 飯富 孔明 笛 松田 弘之

從僧 高橋 正光  
從僧 野見山光政  
能力 善竹 十郎  
木葉天狗 大藏千太郎  
木葉天狗 大藏吉次郎  
木葉天狗 宮本 昇

後見 新井麻衣子  
奥川 恒治  
桑田 貴志

地謡 藤村 答  
杉澤 陽子  
吉留 敬高  
小島 英明

鈴木 啓吾  
中所 宜夫  
中森 貫太  
佐久間二郎

〔終了予定 午後五時頃〕

能——鞍馬天狗(くらまんと)

鞍馬山の僧(ワキ)が、平家の稚児と源義朝の遺児である牛若丸を連れて花見に出かける。ところが見知らぬ山伏(前シテ)が現れ、一行は興をそがれ花見を中断して帰っていく。ただ一人残った牛若丸が、山伏と言葉を交わす。他の稚児は今を時めく平家一門で大事にされている中、自分の不遇を嘆く牛若丸に、山伏は同情し、近隣の花見の名所を見せるなどして、牛若丸を慰める。そして自分は天狗であると明かし、平家討伐のために兵法を伝授すると再会を約束して立ち去る。

(中入) 武芸に励む牛若丸は、師匠の許しがなからと、木の葉天狗との立ち合いを思い留まる。そこへ天狗(後シテ)が各地の名だたる天狗を率いて現れる。牛若丸の態度を褒め、同じように師匠に誠心誠意仕え、兵法の奥義を伝授された、漢の張良の故事を語る。そして、兵法の秘伝を残らず教えて将来の武運を守護することを約束し、再び飛び去っていく。

2015. 3. 7 [土] PM1:00 (開場12:00)

喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 品川区上大崎 4-6-9 TEL 03-3491-8813

JR・東急目黒線・地下鉄三田線・南北線の目黒駅西口より徒歩7分。  
香港園手前の道を左折し約400m直進、杉野学園体育館手前を左に入る。

※駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。



●入場料

会員券(年4回)……一般 20,000円 学生 10,000円  
1回券(当日券)……一般 6,000円 学生 3,000円

※申込先: 各出演能楽師まで

緑泉会

〒184-0005 東京都小金井市桜町2-7-18

tel. 042-386-2131 fax. 042-386-2132

http://www.ryokusenkai.net/

●第2回例会……6月14日(日)

能……清経 Kyozenru ……鈴木 啓吾  
能……誓願寺 Seiganji ……中所 宜夫